

令和7年 国立臺灣師範大學附属高級中學訪問

令和7年12月4日（木）～7日（日）

12月4日（木）から7日（日）の3泊4日で本校生徒5名と引率教員2名が姉妹校である国立臺灣師範大學附属高級中學を訪問しました。

【12/4（木）】

秋田空港からチャーター便で台湾桃園国際空港へ向かい、姉妹校には20時半頃到着しました。遅い到着にもかかわらずお世話になるホストの生徒たちに温かく迎えられ、本校生徒はそれぞれホームステイ先へ向かいました。

【12/5（金）】

学校交流の一日で本校生徒は姉妹校の生徒たちと一緒に授業や部活動を体験しました。昼休みの時の歓迎セレモニーには10月末に角館高校を訪問した姉妹校の生徒たちも参加し、中国語での挨拶や贈り物の交換等が行われました。その後の昼食会では英語でコミュニケーションしながら友情を深め合い、生徒たちはみんな終始笑顔で過ごしていました。さらにその日の夜は姉妹校の生徒の案内で夜市にも出かけることができました。

【12/6（土）】

姉妹校生徒の案内で台北市内観光でした。台北市にそびえ立つ地上101階建ての超高層ビルである台北101に行って展望フロアに登ったり、姉妹校と同じ台北市内にある中山女子高級中學の文化祭に行って楽しんだり、本校生徒は姉妹校生徒の導きで楽しい思い出をたくさん作ることができました。ホテルに戻ってからもお互いに別れを惜しむほど、彼らの絆は深まったようでした。

【12/7（日）】

早朝5時半にホテルを出発し、台湾桃園国際空港へ向かいました。出発時間は多少の遅れはあったものの、無事台湾空港から飛び立つことができました。本校生徒たちは初めての海外旅行であったために、朝食を機内食で取ったり、税関申告書を記入したりと色々なことを経験することができました。秋田空港に降り立った後、雪景色の秋田に戻ったものの、みんなの心はまだ台湾に余韻が残っている感じがしました。

今回の台湾訪問を単なる姉妹校交流として終わるのではなく、これを機会に異文化理解を更に深め、将来視野を広く持って物事を考えられる人材に育って欲しいと思います。



